

セミナー

8月19日 (土)

10:00～12:00

会場：カルチャー棟
小ホール

領域横断的な視点が切り拓く音楽教育の未来

その1 ヒトの進化と音楽、リズム、動き、言語

自然人類学 長谷川真理子氏

本学会では、設立当初より、全国大会の初日にセミナーを開催してきましたが、コロナ禍が明け、今大会よりセミナーも一新します。現在、学校現場ではカリキュラムオーバーロードなどの問題を解消するために、教科を横断させてカリキュラムをマネジメントすることが求められています。しかしながら、それは各教科を単に表面的につなぎ合わせることで解決するものではありません。人間が生きるという営みの大元に立ち戻り、人間の営みやその発展としての学問領域の観点から課題をとらえなおす必要があるのではないのでしょうか。

そこで、今回より「領域横断的な視点が切り拓く音楽教育の新たな世界」と題し、音楽以外の専門領域の方々を講師に迎え、他領域との交流を通して人間が生命を持続発展していくという営みから教科横断のあり方について考えていきたいと思えます。イノベーションを起こすためには異質な分野との交流は欠かせません。本セミナーを通して学校音楽教育にたずさわるわれわれの認識が広がっていくことを期待しています。どうぞふるってご参加ください。

長谷川真理子氏からのメッセージ

私は、ヒトという動物がどのようにして進化してきたのかを探る自然人類学者で、ヒトの脳や心の働きがどのような背景で進化したのかを研究している。言語、文化、芸術はヒトに特異的な性質であり、それらの進化を知ることは、自然人類学の大きな課題の一つだ。こんな研究のためには、一つの分野に閉じてはいられない。ヒトの暮らしは、いろいろなことがすべて関連しており、縦割りの思考を取り払えば、新たな視界が開けてくるだろう。—長谷川真理子

講師 長谷川真理子氏 プロフィール

日本芸術文化振興会理事長。専門は行動生態学、自然人類学。野生のチンパンジー、英国のダマジカなどの研究ののち、最近では人間の進化と適応の研究を行っている。日本進化学会代議員。

著書に『生き物をめぐる4つの「なぜ」』（集英社新書）、『私が進化生物学者になった理由』（岩波現代文庫）、『ダーウィンの足跡を訪ねて』（集英社新書）、『世界は美しくて不思議に満ちている』（青土社）、『進化的人間考』（東京大学出版会）などがある。

